

講演会

琵琶湖の保全から学んだ経験と 滋賀から世界への発信

講師・・・滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課 課長 小松直樹さん

生物多様性や文化的側面等の多様な価値を持つ琵琶湖について、「せっけん運動」など住民との協働の歴史、現在の状況や様々な課題への取組を紹介し、「世界湖沼会議」など、滋賀から世界へと発信を続ける政策について発表します。



第7回世界水フォーラム（韓国・テグ市）にて滋賀県・滋賀大学共同ブースを出展（H27.4.12～17）



第15回世界湖沼会議（イタリア・ペルージャ）の開会式における三日月滋賀県知事のスピーチ（H26.9.1）



琵琶湖で急速に繁茂している侵略的外来水生植物オオバナミズキンバイの重機による駆除の様子

報告 「美しい手賀沼をめざして」

柏中央高校科学部 生徒・（前顧問）松戸南高校教諭 安齋朗さん

柏中央高校科学部は、「手賀沼の水質調査とプランクトンの生態と光触媒による浄化」で2010年日本水大賞審査部会特別賞を受賞しました。学校近くの水田跡地にピオトープを作り、かつて手賀沼に自生していた沈水植物の保護や増殖、水質浄化能力について研究を行っています。



日時	2015年 10月17日（土） 午後1時半～4時半（開場午後1時）
会場	手賀沼親水広場 研修室（3階）
定員	150名
参加費	無料（当日先着順）
後援	公益財団法人山階鳥類研究所
問合せ	手賀沼流域フォーラム実行委員会 八鍬 TEL 090-5217-6699 メール teganumaforum@yahoo.co.jp



主催：手賀沼流域フォーラム実行委員会

手賀沼や流域の環境についてさまざまな企画を通して伝えています